

1. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の第 2 項から第 5 項を求めよ。

- (1) $a_1=1, a_{n+1}=2a_n+5$
- (2) $a_1=2, a_{n+1}=a_n-n$

2. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

- (1) $a_1=1, a_{n+1}=a_n+6$
- (2) $a_1=2, a_{n+1}=-3a_n$
- (3) $a_1=3, a_{n+1}-a_n=1$
- (4) $a_1=3, 2a_{n+1}=a_n$

3. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

- (1) $a_1=1, a_{n+1}-a_n=-2n$
- (2) $a_1=3, a_{n+1}=a_n+4n$
- (3) $a_1=4, a_{n+1}-a_n=3n^2$
- (4) $a_1=2, a_{n+1}=a_n+5^n$

4. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

- (1) $a_1=4, a_{n+1}=2a_n-3$
- (2) $a_1=2, a_{n+1}=5a_n-4$
- (3) $a_1=1, a_{n+1}=4a_n+6$
- (4) $a_1=1, a_{n+1}=\frac{1}{3}a_n+2$

5. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

(1) $a_1=5,$ $a_{n+1}=3a_n-4$

(2) $a_1=2,$ $a_{n+1}=9-2a_n$

(3) $a_1=1,$ $a_{n+1}=\frac{1}{3}a_n+2$

(4) $a_1=1,$ $a_{n+1}=4a_n+1$

6. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

$a_1=2,$ $3a_{n+1}+a_n=4$

7. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を, [] で示されたおき換えを利用すること

によって求めよ。

(1) $a_1=1,$ $a_{n+1}=\frac{a_n}{2a_n+1}$ $\left[\frac{1}{a_n}=b_n\right]$

(2) $a_1=1,$ $a_{n+1}=\frac{a_n}{3a_n+4}$ $\left[\frac{1}{a_n}=b_n\right]$

(3) $a_1=-1,$ $na_{n+1}=(n+1)a_n$ $\left[\frac{a_n}{n}=b_n\right]$

1. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の第 2 項から第 5 項を求めよ。

- (1) $a_1=1, a_{n+1}=2a_n+5$ (2) $a_1=2, a_{n+1}=a_n-n$

【解答】 (1) $a_2=7, a_3=19, a_4=43, a_5=91$
(2) $a_2=1, a_3=-1, a_4=-4, a_5=-8$

- (1) $a_2=2a_1+5=2\cdot 1+5=7, a_3=2a_2+5=2\cdot 7+5=19,$
 $a_4=2a_3+5=2\cdot 19+5=43, a_5=2a_4+5=2\cdot 43+5=91$
(2) $a_2=a_1-1=2-1=1, a_3=a_2-2=1-2=-1,$
 $a_4=a_3-3=-1-3=-4, a_5=a_4-4=-4-4=-8$

2. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

- (1) $a_1=1, a_{n+1}=a_n+6$ (2) $a_1=2, a_{n+1}=-3a_n$
(3) $a_1=3, a_{n+1}-a_n=1$ (4) $a_1=3, 2a_{n+1}=a_n$

【解答】 (1) $a_n=6n-5$ (2) $a_n=2\cdot (-3)^{n-1}$ (3) $a_n=n+2$
(4) $a_n=3\cdot \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1}$

- (1) $a_{n+1}=a_n+6$ から,数列 $\{a_n\}$ は初項 1, 公差 6 の等差数列である。
したがって, 一般項は $a_n=1+(n-1)\times 6$ すなわち $a_n=6n-5$
(2) 数列 $\{a_n\}$ は初項 2, 公比 -3 の等比数列である。
したがって, 一般項は $a_n=2\cdot (-3)^{n-1}$
(3) $a_{n+1}-a_n=1$ より $a_{n+1}=a_n+1$ から
数列 $\{a_n\}$ は初項 3, 公差 1 の等差数列である。
したがって, 一般項は $a_n=3+(n-1)\times 1$ すなわち $a_n=n+2$

- (4) $2a_{n+1}=a_n$ から $a_{n+1}=\frac{1}{2}a_n$

よって, 数列 $\{a_n\}$ は初項 3, 公比 $\frac{1}{2}$ の等比数列である。

したがって, 一般項は $a_n=3\cdot \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1}$

3. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

- (1) $a_1=1, a_{n+1}-a_n=-2n$ (2) $a_1=3, a_{n+1}=a_n+4n$
(3) $a_1=4, a_{n+1}-a_n=3n^2$ (4) $a_1=2, a_{n+1}=a_n+5^n$

【解答】 (1) $a_n=-n^2+n+1$ (2) $a_n=2n^2-2n+3$
(3) $a_n=\frac{1}{2}(2n^3-3n^2+n+8)$ (4) $a_n=\frac{1}{4}(5^n+3)$

- (1) 数列 $\{a_n\}$ の階差数列の第 n 項が $-2n$ であるから, $n\geq 2$ のとき
$$a_n=a_1+\sum_{k=1}^{n-1}(-2k)=1-2\sum_{k=1}^{n-1}k=1-2\times \frac{1}{2}(n-1)n$$

よって $a_n=-n^2+n+1$
初項は $a_1=1$ であるから, 上の a_n は $n=1$ のときにも成り立つ。
したがって, 一般項は $a_n=-n^2+n+1$
(2) 条件より $a_{n+1}-a_n=4n$

数列 $\{a_n\}$ の階差数列の第 n 項が $4n$ であるから, $n\geq 2$ のとき

$$a_n=a_1+\sum_{k=1}^{n-1}4k=3+4\sum_{k=1}^{n-1}k=3+4\times \frac{1}{2}(n-1)n=3+2n(n-1)$$

よって $a_n=2n^2-2n+3$
初項は $a_1=3$ であるから, 上の a_n は $n=1$ のときにも成り立つ。

したがって, 一般項は $a_n=2n^2-2n+3$

(3) 数列 $\{a_n\}$ の階差数列の第 n 項が $3n^2$ であるから, $n\geq 2$ のとき

$$\begin{aligned} a_n&=a_1+\sum_{k=1}^{n-1}3k^2=4+3\sum_{k=1}^{n-1}k^2=4+3\times \frac{1}{6}(n-1)n\{2(n-1)+1\}\\ &=4+\frac{1}{2}n(n-1)(2n-1) \end{aligned}$$

よって $a_n=\frac{1}{2}(2n^3-3n^2+n+8)$

初項は $a_1=4$ であるから, 上の a_n は $n=1$ のときにも成り立つ。

したがって, 一般項は $a_n=\frac{1}{2}(2n^3-3n^2+n+8)$

(4) 条件より $a_{n+1}-a_n=5^n$

数列 $\{a_n\}$ の階差数列の第 n 項が 5^n であるから, $n\geq 2$ のとき

$$a_n=a_1+\sum_{k=1}^{n-1}5^k=2+\frac{5(5^{n-1}-1)}{5-1}=2+\frac{1}{4}(5^n-5)$$

よって $a_n=\frac{1}{4}(5^n+3)$

初項は $a_1=2$ であるから, 上の a_n は $n=1$ のときにも成り立つ。

したがって, 一般項は $a_n=\frac{1}{4}(5^n+3)$

4. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

- (1) $a_1=4, a_{n+1}=2a_n-3$ (2) $a_1=2, a_{n+1}=5a_n-4$
(3) $a_1=1, a_{n+1}=4a_n+6$ (4) $a_1=1, a_{n+1}=\frac{1}{3}a_n+2$

【解答】 (1) $2^{n-1}+3$ (2) $5^{n-1}+1$ (3) $3\times 4^{n-1}-2$ (4) $-2\times \left(\frac{1}{3}\right)^{n-1}+3$

- (1) $a_1=4, a_{n+1}=2a_n-3$
 $c=2c-3$ を解くと $c=3$
漸化式を変形すると $a_{n+1}-3=2(a_n-3)$
 $a_n-3=b_n$ とおくと $b_{n+1}=2b_n, b_1=a_1-3=4-3=1$
数列 $\{b_n\}$ は初項 1, 公比 2 の等比数列であるから $b_n=1\times 2^{n-1}=2^{n-1}$
よって $a_n=b_n+3=2^{n-1}+3$
(2) $a_1=2, a_{n+1}=5a_n-4$
 $c=5c-4$ を解くと $c=1$
漸化式を変形すると $a_{n+1}-1=5(a_n-1)$
 $a_n-1=b_n$ とおくと $b_{n+1}=5b_n, b_1=a_1-1=2-1=1$
数列 $\{b_n\}$ は初項 1, 公比 5 の等比数列であるから $b_n=1\times 5^{n-1}=5^{n-1}$
よって $a_n=b_n+1=5^{n-1}+1$
(3) $a_1=1, a_{n+1}=4a_n+6$
 $c=4c+6$ を解くと $c=-2$
漸化式を変形すると $a_{n+1}+2=4(a_n+2)$

$a_n+2=b_n$ とおくと $b_{n+1}=4b_n, b_1=a_1+2=1+2=3$

数列 $\{b_n\}$ は初項 3, 公比 4 の等比数列であるから $b_n=3\times 4^{n-1}$

よって $a_n=b_n-2=3\times 4^{n-1}-2$

(4) $a_1=1, a_{n+1}=\frac{1}{3}a_n+2$

$c=\frac{1}{3}c+2$ を解くと $c=3$

漸化式を変形すると $a_{n+1}-3=\frac{1}{3}(a_n-3)$

$a_n-3=b_n$ とおくと $b_{n+1}=\frac{1}{3}b_n, b_1=a_1-3=1-3=-2$

数列 $\{b_n\}$ は初項 -2 , 公比 $\frac{1}{3}$ の等比数列であるから $b_n=-2\times \left(\frac{1}{3}\right)^{n-1}$

よって $a_n=b_n+3=-2\times \left(\frac{1}{3}\right)^{n-1}+3$

5. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

- (1) $a_1=5, a_{n+1}=3a_n-4$ (2) $a_1=2, a_{n+1}=9-2a_n$
(3) $a_1=1, a_{n+1}=\frac{1}{3}a_n+2$ (4) $a_1=1, a_{n+1}=4a_n+1$

【解答】 (1) $a_n=3^n+2$ (2) $a_n=-(-2)^{n-1}+3$ (3) $a_n=-2\cdot \left(\frac{1}{3}\right)^{n-1}+3$
(4) $a_n=\frac{1}{3}(4^n-1)$

- (1) 漸化式を変形すると $a_{n+1}-2=3(a_n-2)$
 $a_n-2=b_n$ とおくと $b_{n+1}=3b_n$
よって, 数列 $\{b_n\}$ は公比 3 の等比数列で, 初項は
 $b_1=a_1-2=5-2=3$
数列 $\{b_n\}$ の一般項は $b_n=3\cdot 3^{n-1}=3^n$
したがって, 数列 $\{a_n\}$ の一般項は, $a_n=b_n+2$ より $a_n=3^n+2$
(2) 漸化式を変形すると $a_{n+1}-3=-2(a_n-3)$
 $a_n-3=b_n$ とおくと $b_{n+1}=-2b_n$
よって, 数列 $\{b_n\}$ は公比 -2 の等比数列で, 初項は
 $b_1=a_1-3=2-3=-1$
数列 $\{b_n\}$ の一般項は $b_n=-1\cdot (-2)^{n-1}=-(-2)^{n-1}$
したがって, 数列 $\{a_n\}$ の一般項は, $a_n=b_n+3$ より $a_n=-(-2)^{n-1}+3$
(3) 漸化式を変形すると $a_{n+1}-3=\frac{1}{3}(a_n-3)$
 $a_n-3=b_n$ とおくと $b_{n+1}=\frac{1}{3}b_n$
よって, 数列 $\{b_n\}$ は公比 $\frac{1}{3}$ の等比数列で, 初項は
 $b_1=a_1-3=1-3=-2$
数列 $\{b_n\}$ の一般項は $b_n=-2\cdot \left(\frac{1}{3}\right)^{n-1}$
したがって, 数列 $\{a_n\}$ の一般項は, $a_n=b_n+3$ より $a_n=-2\cdot \left(\frac{1}{3}\right)^{n-1}+3$

(4) 漸化式を変形すると $a_{n+1} + \frac{1}{3} = 4\left(a_n + \frac{1}{3}\right)$

$a_n + \frac{1}{3} = b_n$ とおくと $b_{n+1} = 4b_n$

よって、数列 $\{b_n\}$ は公比 4 の等比数列で、初項は

$$b_1 = a_1 + \frac{1}{3} = 1 + \frac{1}{3} = \frac{4}{3}$$

数列 $\{b_n\}$ の一般項は $b_n = \frac{4}{3} \cdot 4^{n-1} = \frac{1}{3} \cdot 4^n$

したがって、数列 $\{a_n\}$ の一般項は、 $a_n = b_n - \frac{1}{3}$ より $a_n = \frac{1}{3}(4^n - 1)$

6. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

$$a_1 = 2, \quad 3a_{n+1} + a_n = 4$$

解答 $a_n = \left(-\frac{1}{3}\right)^{n-1} + 1$

$3a_{n+1} + a_n = 4$ から $a_{n+1} = -\frac{1}{3}a_n + \frac{4}{3}$

これを変形すると $a_{n+1} - 1 = -\frac{1}{3}(a_n - 1)$

$a_n - 1 = b_n$ とおくと $b_{n+1} = -\frac{1}{3}b_n$

よって、数列 $\{b_n\}$ は公比 $-\frac{1}{3}$ の等比数列で、初項は

$$b_1 = a_1 - 1 = 2 - 1 = 1$$

ゆえに、数列 $\{b_n\}$ の一般項は $b_n = 1 \cdot \left(-\frac{1}{3}\right)^{n-1} = \left(-\frac{1}{3}\right)^{n-1}$

したがって $a_n = b_n + 1 = \left(-\frac{1}{3}\right)^{n-1} + 1$

7. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を、[] で示されたおき換えを利用することによって求めよ。

(1) $a_1 = 1, \quad a_{n+1} = \frac{a_n}{2a_n + 1} \qquad \left[\frac{1}{a_n} = b_n\right]$

(2) $a_1 = 1, \quad a_{n+1} = \frac{a_n}{3a_n + 4} \qquad \left[\frac{1}{a_n} = b_n\right]$

(3) $a_1 = -1, \quad na_{n+1} = (n+1)a_n \qquad \left[\frac{a_n}{n} = b_n\right]$

解答 (1) $a_n = \frac{1}{2n-1}$ (2) $a_n = \frac{1}{2 \cdot 4^{n-1} - 1}$ (3) $a_n = -n$

(1) $a_1 = 1 > 0$ より、漸化式の形からすべての自然数 n について $a_n > 0$ である。

漸化式の両辺の逆数をとる（つまり、分子分母をひっくり返す）と

$$\frac{1}{a_{n+1}} = \frac{2a_n + 1}{a_n} \qquad \text{よって} \qquad \frac{1}{a_{n+1}} = \frac{2a_n}{a_n} + \frac{1}{a_n} \quad \text{となる。}$$

$\frac{2a_n}{a_n}$ は約分されるので $\frac{1}{a_{n+1}} = 2 + \frac{1}{a_n}$ となる。

$\frac{1}{a_n} = b_n$ とおくと $\frac{1}{a_{n+1}}$ は b_{n+1} となるので $b_{n+1} = b_n + 2$

よって、数列 $\{b_n\}$ は公差 2 の等差数列で、初項 b_1 は $\frac{1}{a_n} = b_n$ であったから

$b_1 = \frac{1}{a_1}$ なので $a_1 = 1$ より $b_1 = \frac{1}{a_1} = \frac{1}{1} = 1$

ゆえに $b_n = 1 + (n-1) \times 2 = 2n - 1$

したがって $\frac{1}{a_n} = b_n$ であったから、 $\frac{1}{a_n} = \frac{b_n}{1}$ と考えて、

この式の両辺の逆数をとると $\frac{a_n}{1} = \frac{1}{b_n}$ つまり $a_n = \frac{1}{b_n}$ となり

$b_n = 2n - 1$ であったから $a_n = \frac{1}{b_n} = \frac{1}{2n - 1}$

(2) $a_1 = 1 > 0$ より、漸化式の形からすべての自然数 n について $a_n > 0$ である。

漸化式の両辺の逆数をとる（分子分母をひっくり返す）と $\frac{1}{a_{n+1}} = \frac{3a_n + 4}{a_n}$

よって $\frac{1}{a_{n+1}} = \frac{3a_n}{a_n} + \frac{4}{a_n}$ より $\frac{1}{a_{n+1}} = 3 + 4 \times \frac{1}{a_n}$

$\frac{1}{a_n} = b_n$ とおくと、 $\frac{1}{a_{n+1}}$ は b_{n+1} となるので $b_{n+1} = 3 + 4b_n$

変形すると $b_{n+1} - 1 = 4(b_n + 1)$

よって、 $c_n = b_n + 1$ とおくと $b_{n+1} + 1$ は c_{n+1} となるので $c_{n+1} = 4c_n$

数列 $\{c_n\}$ は公比 4 の等比数列で、 $c_1 = b_1 + 1$ である。

$b_1 = \frac{1}{a_1} = \frac{1}{1}$ より $c_1 = b_1 + 1 = \frac{1}{a_1} + 1 = \frac{1}{1} + 1 = 2$

ゆえに $c_n = 2 \cdot 4^{n-1}$ から $b_n + 1 = 2 \cdot 4^{n-1}$ よって $b_n = 2 \cdot 4^{n-1} - 1$

したがって $\frac{1}{a_n} = b_n$ であったから、 $\frac{1}{a_n} = \frac{b_n}{1}$ と考えて、この式の両辺の逆数をとると

$\frac{a_n}{1} = \frac{1}{b_n}$ つまり $a_n = \frac{1}{b_n}$ となり、 $b_n = 2 \cdot 4^{n-1} - 1$ であったから

$$a_n = \frac{1}{b_n} = \frac{1}{2 \cdot 4^{n-1} - 1}$$

(3) 漸化式の両辺を $n(n+1)$ で割ると $\frac{na_{n+1}}{n(n+1)} = \frac{(n+1)a_n}{n(n+1)}$ より $\frac{a_{n+1}}{n+1} = \frac{a_n}{n}$

$\frac{a_n}{n} = b_n$ とおくと $b_{n+1} = b_n$

これは数列 $\{b_n\}$ が公比 1 の等比数列であることを意味するので

$b_n = b_1 \times 1^{n-1}$ つまり $b_n = b_1$ ここで $b_n = \frac{a_n}{n}$ なので $b_1 = \frac{a_1}{1} = \frac{-1}{1} = -1$

ゆえに $b_n = -1$ したがって $b_n = b_1$ であったから $b_n = -1$

（つまり、数列 $\{b_n\}$ はすべての項が -1 である数列）

また、 $b_n = \frac{a_n}{n}$ であったから、この式の両辺に n をかけると $nb_n = a_n$

よって、 $b_n = -1$ であったから $a_n = nb_n = -n$